
最後のメール

べあ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最後のメール

【Zコード】

N7403D

【作者名】

べあ

【あらすじ】

居なくなつて初めて気づいた、“綾香”的大切さ、秋は手を震わせ綾香に最後のメールを送る・・・・・

(前書き)

貴方は、好きな人になんと“好き”って伝えてますか・・・・・?
?

後悔したって、もう遅いのに・・・・

君は、世界中の何処を探したって、もういないのに・・・・

涙が止まらないんだ・・・・

ごめん綾香、

「めんな

＋＊＋＊＋＊＋＊＋＊＋＊

「ねえ秋、今年も、もう終わりだね。」

「ああ。」

俺は、いつもそうだった、“彼女”が話しかけても【あ】か【そうだな】としか答えず、携帯をいじり始める

「秋アタシね・・・秋に言わなきやいけない事がるんだ・・・」

深刻そうに、俺を見つめる彼女を、俺は

「忙しいから、今度ね」

といつ言葉で終わらせた

もう、その頃には“今度”なんて無かったのに・・・

彼女は、いつでも自分の側にいる・・・

それに、馴れて俺は、すっかり変わってしまった

もう彼女の名前さえ呼ばなくなつて、たまに遊んだときにも、こんな状況が続いていた

馬鹿だよな・・・俺

居なくなつて初めて綾香の大切さを知るなんて・・・
本当大馬鹿だよな・・・

俺は、携帯を開く

画面の横には、1年前彼女と撮ったプリクラが貼つてある
プリクラの中で幸せそうに微笑みあう俺たち

いっぱい喧嘩や言い合いもした・・・

励ましあつたり、慰めたりもした・・・

そして、毎日幸せな日々を送っていた・・・

なのに・・・

なのに・・・

それは、もう“思い出”という形でしか残っていない

俺は、アドレス帳の中から彼女の名前を探す

いつからか、メールも電話も、しなくなり綾香との距離は、離れて
いく一方だった

俺は、彼女に最後のメールを打つ・・・

手が震える・・・

携帯のディスプレイに幾つもの水滴が落ちる

「か・・つ・・・・・・・綾香あ・・・つ――――」

ついに、叫びだしてしまつ俺

俺の横を通りの人たちが不審な視線を送つてくる

でも、そんな事はどうでも良かった

泣き崩れながら、花束と綾香の大好きだったクマの人形を綾香の命を奪つた道路の横に置く

俺があの時綾香の事を引きとめておけば綾香は、いつもならなかつたかもしけないのに・・・・

『忙しいから、今度ね』

俺がそう言つた後の綾香の悲しそう顔をまだ、鮮明に覚えている

綾香は、コートも着ないでいきなり12月の外へと飛び出していった

それを俺は、横田でちらりと見るとまた、携帯に田を戻した

何での時追いかけなかつたんだよ・・・・
何で話を聞いてやらなかつたんだよ・・・・

今更、後悔と情けなさが俺の胸を押しつぶす

その後綾香は、居眠りをしていたトラックの運転手によつて

居なくなつてしまつた・・・・・

俺が綾香をその後見たのは、病院のベッドの上だつた

白い紙を顔の上にのせ、あの優しい笑顔をして“眠つていた”

葬式が終わり、骨になつてしまつた綾香

ごめん綾香、

ごめんな・・・・・

こんな駄目駄目彼氏で・・・・・

俺は、再び携帯も画面を見る

そして、せいいっぱいの想いをこめて

愛している。

と書かれたメールを送る、

「聞くはず無いのに・・・・

綾香と過ごした5年間

絶対忘れない・・・・

そして、今神に誓います

一生綾香だけを愛し続けることを・・・・

綴りのよし

綴香

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7403d/>

最後のメール

2010年12月1日07時45分発行